

## お洒落 サプリメント

⑥

# おしゃれの基本は カラーコーディネート



鏡の前で白のYシャツに紺色のスラックスをはき、現役時代の自分と比較してみてください。男性にとってはどちらも現役時代の制服カラーとして誰でも抵抗なく身につけられる馴染みの色ですが、この単純な2色の組み合わせが、リタイア後、着る人によって大きく違ってくるのです。

着こなしに心意気がなければ、ただ平凡でしかないこの紺と白が、実は究極のおしゃれカラーともいえるのです。シンプルな配色だけに、その時々々の着る人の内面まで映し出してしまおう…。鏡の前の自分を、現役時代に引けをとらないと感じることができたら、今のあなたは輝いているということになるのです。ぜひ試してみてください。

さて、最近は男性の服装もカラフルになり、ピンクやパープル、オレンジなどをおしゃれに着こなしている人を見かけることも少なくありません。けれども大半の人は、どちらかといえば「地味」な色味。「色」に慣れていない男性は、つい「無難」な色を選んでしまいがちですが、おそれず、前向きにトライする気持ちが大切です。

「色」は印象を与えるもの。明るい雰囲気を出したいとき、風格を出したいときなど、身につける色を工夫することによって、その都度、違う自分を演出することができるのです。毎日着ることを楽しみながら、客観的な視点で自分を見つめることが、自身のおしゃれを成長させていくコツともいえるでしょう。

たとえばグレー。白髪交じりの初老の紳士をロマンスグレーと呼ぶなど、シニアにとってグレーという色のイメージは、決して悪くはありません。しかし、グレーの装いには知的なイメージと地味で暗いイメージが共存し、色使いがとても難しいといわれています。

一口にグレーといっても、その色合いもいろいろです。シニアの皆さんには、地味で暗いイメージを避けるため、中間色ではなく、できるだけ明るい色か、黒に近いチャコールグレーをおすすめします。最近はグレーにベージュを合わせたり、パステルカラーを配したりする、新しい組み合わせも多く見られます。

自分の好きな色、なじみの色から脱皮して、新しい色に挑戦することで、新しい自分を発見できるかもしれません。